

■ 講演討論会 「水害と火災 ～『浸水火災』にどう備えるか～」 開催予告 ■

公益社団法人 日本火災学会
学術委員会

平成 30 年 6 月 28 日から 7 月 8 日にかけて西日本を中心として広範囲の豪雨被害が発生し、岡山県総社市のアルミ工場では浸水に起因した爆発火災が発生しました。また、9 月 4 日に上陸した台風 21 号では、兵庫県西宮市にある車のオークション会場が冠水し中古車約 190 台が炎上するとともに、神戸市ではコンテナが冠水し、積み荷のマグネシウムが炎上しました。水と火災は、一見すると無関係のようですが、海水は電気を通すことに加え、水に反応する化学物質も多くあるため、水に浸かることで出火したり爆発したりする危険性は高まります。毎年、台風の襲来が増加しており、また、地震後の津波を含め、今後も類似の火災や爆発が再び起こる可能性は否めません。

本講演討論会では、浸水に伴う自動車や工場などの火災・爆発の事例と消防活動について、各分野の専門家にご講演いただき、台風や地震後の津波に伴って発生する「浸水火災」にどう備えるべきか、今後の対策について討論します。会員の方はもとより、消防関係者、建築設計・技術者、工場関連施設の管理者、損害保険業界の方々などからも多数のご参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

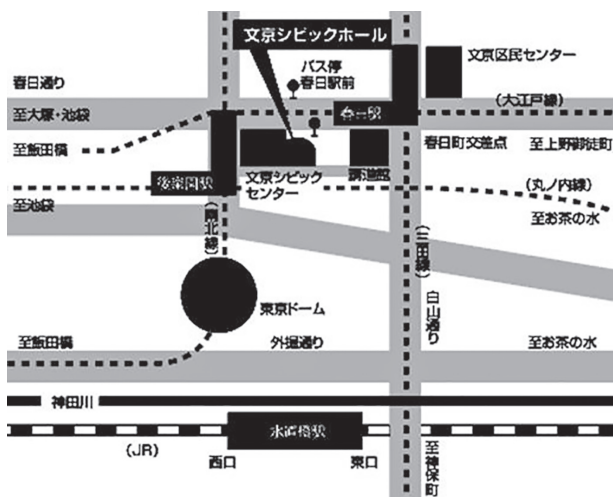
—記—

主 題：「水害と火災～『浸水火災』にどう備えるか～」

開催日：平成 31 年 1 月 31 日（木）
13：00～16：30

会 場：文京シビックセンター（小ホール）
〒112-8555 東京都文京区春日 1-16-21
http://www.city.bunkyo.lg.jp/sosiki_busyo_shisetsukanri_shisetsu_civic.html

- ・東京メトロ丸ノ内線・南北線：後楽園駅徒歩 1 分
- ・都営三田線・大江戸線：春日駅徒歩 1 分
- ・JR 総武線・中央線：水道橋駅徒歩 8 分



参加費：1,500 円（テキスト付） 申込：当日受付
【プログラム】

開催挨拶 13:00～13:05 学術委員長 平島 岳夫

講 演 13:05～15:20 司会：岸上 昌史
13:05～13:35
「水の関わる爆発事故について（仮）」
中村 順（総合安全工学研究所）

13:35～14:05
「津波、高潮などによる車両火災の原因と対策の考察（仮）」
高橋 直人（公立諏訪東京理科大学）
（休憩 14:05～14:20）

14:20～14:50
「浸水した太陽光発電設備の火災（仮）」
田村 裕之（消防研究センター）

14:50～15:20
「総社市アルミ工場爆発・火災の被害と周辺での避難状況（仮）」
北後 明彦（神戸大学）
（休憩 15:20～15:35）

討 論 15:35～16:25
司会 鍵屋 浩司

閉会挨拶 16:25～16:30
学術副委員長 桑名 一徳